

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会記録

1 会議の日時	令和 5年 7月 5日	開 会 午前 9 時 58 分 閉 会 午前 10 時 45 分
2 会議の場所	第6委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 猫 田 孝 副委員長 小 原 尚 委員 森 正 弘 野 村 美 穂 澄 川 寿 之 森 治 久 藤 本 恵 司 平 野 恭 子 森 益 基 黒 田 芳 弘
	執 行 部	別 紙 配 席 図 の と お り
4 事務局職員	主査 横田 直道	係長 佐藤 由子

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
<p>1 県土強靱化・インフラ整備対策に関する調査について</p> <p>○流域治水について</p> <p>参考人</p> <p>国土交通省 中部地方整備局</p> <p>木曾川上流河川事務所 副所長 原 幹彦 氏</p>		
<p>2 その他</p>		

6 議事録（要点筆記）

○猫田孝委員長

本日の委員会は、流域治水についてを議題とし、協議いただくため開催したものである。

本日は、執行部のほか、議題について報告いただくため、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所、副所長の原幹彦様に出席いただいている。

原様におかれては、大変ご多用のところ、お越しいただき、誠に感謝する。

是非、活発な意見交換ができればと思うので、よろしくをお願いしたい。

なお、質疑については、報告終了後をお願いする。

（報告 参考人 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所 副所長 原幹彦氏）

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質疑はあるか。

○野村美穂委員

気候変動を加味して治水計画の見直しをしていくとの説明であったが、見直し状況を教えていただきたい。

○原参考人

気候変動を踏まえた治水計画の見直しは全国的に順番にやっているところであり、木曾川水系については今後見直しをする予定である。木曾川水系は範囲も広いため丁寧に検討を進めている状況である。

○野村美穂委員

校庭貯留の事例として岐阜市と大垣市の事例を紹介いただいたが、校庭貯留はどのように進めていくのか。

○原参考人

各市町において、学校のグラウンドの状況等を踏まえて、取組が可能なところから順次取り組んでいるのが現状である。

○黒田芳弘委員

揖斐川と根尾川で大雨の際の流量に違いが生じるが、合流地点におけるバックウォーター対策について教えていただきたい。

○原参考人

現在の河川整備計画では、バックウォーターが起きたとしても揖斐川、根尾川それぞれの戦後最大洪水に対して氾濫しないよう河川を改修する計画としている。

○猫田孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会 配席図

令和5年7月5日

第6委員会室

